昭和28年3月15日印刷
昭和28年3月15日発行

奈良市民だより
【第31号】
発行所
奈良市役所
編集兼発行人　市民課長　大西一之
印刷所　共栄印刷工業

高椋市長三月定例市会で
新年度市政方針を發表
民生安定の基盤にたつ国都建設

昭和二十八年度の予算市会は三月七日午後四時三十分開会、直ちに陳情書及び請願書の朗読が行われ、請願書三件については各所属委員会附託と決定した。つづく監査報告は之を了承、日程に入り「昭和二十六年度奈良県奈良市歳入歳出決算認定の件」の上程あり、市長の説明あつて中井、松石義の各議員よりそれぞれ質疑あり、五時四十五分議事進行上、一たん休憩に入り、六時三十分再会。まず矢川議員から「警察法並に義務教育職員法反対」に対する緊急動議の提出あり、小林議員の賛成意見あつて、提案者説明通り可決と決定した。つづいて阪口議員より、決算認定の件については審議の慎重を期するため、特別委員会に附託せられたいとの動議の提出あり、井田議員の賛成意見あつて、決算認定の件については特別委員会に附託することと決定したので、中野議長より決算委員の指命あり、午後六時四十五分散会した。

休会あけの予算市会第二日目は十一日午後三時十五分再会、請願書二件を所属委員会に附託後、さきに委員会附託となつた決算認定の件について、広岡委員長より委員会審査の経過報告あり、岡谷議員の質疑あつて、委員長報告通り原案を認定、昭和二十八年度予算その他附属議案の審議に入つた。まず高椋市長から左記に示す通り提案説明あつて、中岡議員から休会動議、藤石議員の賛成意見あつて、昭和二十八年度歳入歳出予算その他附属議案については議案熟読のため、四時三十五分休会に入つた。

奈良市長　高椋正次

市長提案理由説明要旨

顧りみまするに、終戦以来占領治下にあること七年、よく苦難に堪え、新日本再建のため孜々として努力致して参りましたわが国も、昨年講和條約の発効により独立国家として国際社会に復帰し、国内また経済的にも漸く一応の安定を見ることとなりましたことは、国際文化観光都市の建設を目ざすわが奈良市として、九万市民各位とともに深くよろこびとするところであります。

然しながら、国際情勢は必らずしも安定したとは申し難いことは御承知の通りでありまして、わが国が名実ともに真の独立国家として世界各国に伍するためには、更に経済基盤の充実と国力の培養に一段の力を致さねばならないと考えるのであります。

こうした客観情勢の中に置かれましたわが国の地方行政運営の衝に携わる私どもと致しましては、国政の最前線として「地方自治の本旨」に則つた施策を強力に推進する反面、国の施策についてもこれに順応し、もつて国家の再建に協力しなければならないと考える次第であります。

戦後民主政治の基盤として憲法に保障せられました地方自治制度は、数次の改正を経て漸く地方自治確立の基礎が整備せられたかに見えるのでありますが、地方自治の裏付けとなります地方財政の面につきましては遺憾ながら地方自治を推進する最低線さえ確保し得ない状況にあるのであります。

即ち、相次ぐ給与ベースの改訂に伴う人件費の増加、法令の改正による義務的支出の増加、その他物価の値上りによる一般経費の増嵩等財政需要は逐次膨脹の一途を辿るに反し、これに即応して伸張すべき歳入面におきましては、シャープ勧告による税制改革により独立税主義が採られた結果、税は弾力性、伸張性を欠、地方財政平衡交付金も実際の財政需要と余りにかけ隔つた額しか交付されない実情でありまして現行地方税財政制度を根本的に改革するに非ざれば地方財政は破綻の外なき状況に追い込まれている現であります。

試み、全国都市の財政事情を申し上げますならば、昭和十四年度におきましては決算上繰上充用即ち赤字決算を行いました都市が六市でありましたのが昭和二十五年度には一四七市と急増し、更に昭和二十六度には一七二市となり、全都市の六五パーセント赤字を出したのであります。

而して二十七年度におきまして、全都市の九六パーセン二〇八市が赤字必至の見込であると報ぜられていることから見ましても、地方財政特に都市財政が如何に窮迫しているか御推察願えると存ずるのであります。

このことは市制施行以来未だ嘗て経験したことのない赤字決算を昭和二十六年において行わざるを得なかつた当市の例に徴しまして十分御諒解願えるものと存ずる次第であります。

以上の如く地方財政危機打開の問題は単なる地方団体の問題でなく、目下開会中の今期国会におきましても大きくとりあげられているのでありまして、過般設置せられました「地方制度調査会」におきましても、地方行財政制度全般についての根本的改革が検討せられているのでありまして、占領行政の行きすぎ是正政策の最重要課題として、広く全国民の注視を集めている次第であります。

従いまして、私は、本年中に「地方方制度調査会」の答申が行われるものとして、昭和二十九年度におきましては、必らずや地方財政の面につきましてもわれわれの期待する結果が実現するものと確信しているのでありまして、この意味から昭和二十八年度は、地方財政にとつて、過渡期における最難の年であると言えるのではないかと思うのであります。

以上のような事情から昭和二十八年度予算におきましては、議会はもとより市民各位の御要望を十分に満たす予算の編成のできなかつたことを遺憾とするのでありますが、限られた財政力しか持たない現段階におきましは、已むを得ないものと御諒察賜らんことをお願いする次第であります。

然しながら、私と致しましては、均衡予算に基づく健全財政方針を堅持する立前から、乏しい財源を剰いて、積極果敢に常にモットーとする「民生安定を基盤とした国際文化観光都市の建設」を目ざし市勢の振興に意を用いた次第であります。

即ち、就任第三年目を迎えました私と致しまして、明年度は極力消費的経費即ち人件費、物件費等の徹底的抑制を図り、これによつて浮び上る財源を投資的経費に充当し、苟くも市民の血税が無駄に使われることのないよう、経費の重点的配分に努め、もつて予算の効率的使用と行政の合理的運営に格段の力を注いだ積りであります。

殊に、国際文化観光都市建設法の実施につきましては、昨年九月「国都建設審議会」より第一次五ヶ年計画の具体的な綱目に亘る答申を受け、殷意これが実現について、中央関係各省はもとより、地方機関、県当局とも再三折衝を重ねるとともに別府、熱海、伊東、草屋、松江、松山の各市及び軽井沢町と連盟を結成し、極力関係当局の積極的な援助を得るように努めました結果、漸く軌道に乗る見透しを得ることとなりましたことを御報告申し上げます。而して国都建設は、単に都市計画のみならず、教育、産業、厚生等市政の全部門を挙げての綜合的大事業であるとの私の信念は、依然として今日も堅持致しておるのであります。

こうした観点から国都建設事業は一般会計、特別会計の全歳にその意図を織込んだ積りでありますが、本年度は特に教育施設の整備及び社会及び労働施設の充実に意を用い、一方庁舎災害復旧事業につきましては、漸く的確なる財源の見透しを得ましたので、繰続事業として近く着工の域に達しましたことを特に申述べたいと存ずる次第であります。

以上申し述べましたように極力経費の節約を旨として編成致しました昭和二十八年度予算も、昨年末の給与改訂によりまして、昨年当初に比し約七千万円近い人件費の増加のため、六億を越える財政規模となつたのでありますが、人件費につきましては、私、就任以来、特別の事情ある場合を除き欠員不補充方針を堅持し、就任直後と昨年末の二回に亘り、行政組織の簡素合理化のため機構の改革を断行し、更に人員についても極力縮減を計り、いわゆる少数精鋭主義による有能職員の育成に意を用いている次第でありまして、今後もこの方針は堅持し更に綱紀の粛正と庁務の刷新能率化のため信賞必罰を励行致したいと考えている次第であります。以上の方針により編成致しました昭和二十八年度予算は、公営企業としての水道会計を別として

一般会計
六億一千三百十七万円
特別会計
公益質屋費
七百四十四万八千円
社会事業基金
一万一千円

であります。

即ち、一般会計におきましては前年度当初予算に比し一億三千六百四十七万円の増、現計予算に比し五千五百六十四万五千円の増となつているのでありますが、この増加の主たる原因は給与ベースの改訂に伴う義務的経費の増加によるものでありますが、一面予算本来の性格に鑑み、予見し得る経費は努めてこれを組入れ、いわゆる年間予算として編成致しました関係上、六億を上廻る数字となりましたが、徒らに財政規模の膨脹せざるよう、一般事務費、物件費等については極力緊縮節約を計つた次第であります。

（市長の市政方針説明の内容中、予算に関係のあるものについては予算市会終了後各款毎の説明を掲載致しますから本号では予算関係のお知らせを致しておりませんが予め御了承下さい。）

市立小学校の今昔
（佐保小学校）

大正十一年一月十三日奈良第五尋常小学校を添上郡佐保村法蓮字畑ヶ田に設置同年十月三十日高天市町外三十八町を学校区域とし学制発布五十週年紀念日を下して開校、翌日開校式を行う、同年十一月二十一日北棟十二教室竣工、大正十二年四月一日佐保村と奈良市の合併によつて市界が変更され学校区域は法蓮、法華寺、半田の三町が加えられ尋常科、高等科共に拡張、大正十四年六月十三日南棟十二教室竣工、昭和三年十二月十八日本館落成す、昭和十一年十月一日新南棟校舎竣工す、昭和十四年六月十三日奈良市第六尋常高等小学校設置され油坂一、二三町、芝辻西町転学す、昭和十五年四月一日通学区変更によつて西阪町、芝辻南法蓮町久保垣内の児童転校昭和十六年四月一日奈良市佐保国民学校と校名改めらる、通学区変更により高天町、漢国町、今辻子町は椿井国民学校区に、油坂北東は大宮校に編入、昭和二十二年四月一日奈良市佐保小学校と改名、高等科廃止昭和二十五年十月八日南校庭にプール完成、昭和二十六年七月二十四日プール第二期工事完成す。現在学級二八学級、児童一・四一二名（男七九二、女六八四）職員数三二名、設備校地総坪数五四四五坪、運動場二、九七〇坪　校舎延建坪一、五五七坪、普通教室二八、特別教室六である。

奈良市の自治連合会結成さる

ポ政令の失効後、長らく結成を待たれていた各町の自治会が漸く結成なり、このほど奈良市自治連合会が結成されました。この結果申合せ事項として左記事項が決定され、各校区の自治連合会にそれぞれ伝達もしくは了解を求めることになりました。

記

一、奈良市自治連合会の協議会は毎月第二金曜日に開催する。

二、自治会の名称は不統一の傾向にあるのでこれを統一する様仕きかける。

三、転出入の場合、またはその他の証明等で市側で不明な点のある場合は、各町自治会長の認印で証明書を発行する。

四、納税組合の結成を機会ある毎に呼びかける。

新小学生のお母様方へ

幼い子供たちにとつて、小学校への入学は誕生にも比すべき重大な出来事であります。順調な出生がその後の成長と発育に望ましいよい影響を与えるように、平和で順調な入学も同様にその後の学校生活に好影響を与え、新しい未来を約束するのであります。

由来りつぱな人は必ず母親のすぐれた教育によつて、真の愛情をもつて育てられています。何といつても家庭の教育は子供の生涯を決定するといつても過言ではありません。わけても母親の負うべき責任の重さ実に大きいものであることは言うまでもありません。

さればといつて、子供にあれこれと細かくかまうことがその責任を果すことではありません。子供を甘やかせたり、依頼心を起させるようなことは厳につつしむべきことであります。しつけには何といつても健康第一です。病気をすると甘えたり、依頼心を起すような悪いくせがつきます。

学校に行きはじめたら学校を好きにすることです。大事なことは子供の前で先生や、学校のたなおろしをしてはならぬことです。子供は先生に対しては何よりの信頼感を持つようにしむけなくては教育などできるものではありません。子供は学校から帰れば、いろいろ学校のことを話すものです。これは上手に聞いてやつて下さい。小さなできごとでも、子供の成長にとつて、たゝへん有効なことが多数あります。これを親切にやさしく聞きとつてやることはわずかなことですが、子供の学校でのようすや、友達間の交渉がよくわかつて、母も子も満足できるものです。

子供が親の考えている良いと思う型どおりの行いをしないからといつて強く叱つてはなりません。子供がなつとくするよう軽く注意することです。子供の行いには、良いにつけ、悪いにつけて何か原因、理由があるものです。その理由を考えて子供がなぜそのような行いをするか理解してよく言つてきかせることがだいじです。

しつけの中で大切なのは、自分のことは、自分でやるようにさせることです。先にも述べましたように、母親はとかくおせつかいで真の意味の親切が少く、かまいすぎることが多いようです。範掲、帽子かけ、靴や傘の置場所、自分の手で仕末させるように考えてやらねばなりません。

ことばづかいと礼儀作法も家庭でしつかりとしつけねばならないことです。学校でならつてきたことは、ほめるようにして、決してくさしたり冷やかしたりしてはなりません。

友達も大切です。近所の子供が気に入らぬといつて、子供をひとりぼつちにしては、子供の良い発達のためにはよいこととはいえません。良い遊び、悪い遊びはよく言つて聞かせ、友達と戸外で元気に遊ばせねばいけません。ただし母親は、子供が外で誰と、どんな遊びをしているかは、そつと見て知つておらねばいけません。

ねる時は自分の衣類を枕もとにまとめてねるくせもだいじです。朝になつて衣類について大さわぎをすることは、子供の学校生活に悪い影響をあたえるものです。

最後にどこの家庭にも一年生には一年生なりの仕事があるものです。手伝う仕事をきめて毎日必ずやらせることです。仮く習慣は幼い時から是非つけておきたいものです。

入学は親にとつても子供にとつても、感激の深いものです。いつまでも入学時の心持を忘れずにいることが、子供の教育にとつて何より大切なことをよく銘記して、明るく、素直に、生き生きとした子供に育てて頂くようお願いします。

（学校教育課）

弔慰金、遺族年金を受けられる要援護世帯の方へ

弔慰金、遺族年金は昨年末頃より順次支給されておりますが、すでに一般に発表されました様に、生活保護を受けて居られる遺族の方が弔慰金、遺族年金を受けられた場合には、弔慰金は収入とは見られませんが、遺族年金の受給額は収入として見込む事になつていますので生活扶助金及医療扶助額より差引ますから御諒承下さい。

春の観光客は市民全体の手で

春の芽吹も見え初め観光客が日本交通公社や、近畿交通社、国鉄を通して申込が多数あり、市の観光課にも毎日十数通の問合せが参つており、春の見通しに明るい印象を与えている事は誠に嬉しい事であります。観光都としての市民の皆様も受入態勢に万全を期して下さつておる事と信じますが、お互い観光客に対し充分満足して帰つて頂き「奈良はよかつた。もう一度行こう」という印象と声とを聞き度いと念願しています。

静かに奈良の現状に思いを致しますと、奈良は幸いに災を受けていないので旧都としてのゆかしさと、美しさとを持つていますが、唯之だけでは現在人の心をとらえる事は出来なくなりました。観光客が奈良を素通りして京都で泊つたり、京阪神の人々が南紀や、北陸に憧れをもたれている事実は雖弁に之を物語つているのではないでしようか。

奈良は美しい古都であると共にきれいな近代的な町でなくてはならないと信じます。「奈良の町は臭い」「奈良は高い」という言葉をよく聞きますが、吾々は謙虚に手をあてて じつくりと考えねばならぬ時が来ていると思います。ちよつと奈良の町を歩いて見ますと、道路がきたなかつたり、見易いところに洗濯物がほしてあつたり、川に塵埃がすてあつたり、甚しいのは猿沢池に塵埃を捨てたりしていますが、こうした小さな事に少し気をつけると経費もかけずに明るくなる事に気がつかないでいます。お互い「観光都は吾々の手で」というように全市民が考えていただき度いと思います。

新興の都市が全力をあげてその発展に總力を尽されていますが、「奈良は古都であるのでじつとしていても奈良にお客が来る」という考えが心の中に秘んでいて消極的になつているのではないかと思います。もう先祖の遺産のみで生きる時代ではありません。奈良市民全体が一丸となつて市の発展に真剣に取り組まねばならないと信じます。

市民の皆さんにお願いしたい事は奈良は二三時間で簡単に見る所でなく、少くとも一日か二日かかつてゆつくり落付いて味うところである事を認識していただいて、観光客に御案内願い度いと思います。県外からお越しになる方は大低奈良は半日で十分見られると考えておられるようです。この点を是正願つて、奈良で是非泊らねばならぬよう御案内願い度いとじ存ます。

話は六ケ敷くなりますが春の受入対策として市では二月早々五万枚のジフレットと学校長への挨拶状と交通公社を通じ全国の学校に送る一方、県市並びに観光関係者が九州の福岡県に出張し「大和の古文化を語る会」を開き大和の宣伝につとめ、近畿七都市が共同で「近畿の旅と宿」を印刷して全国に配布、日本交通公社の映画班を通じ映画「関西の旅」を作つていただき、全国の学校に映写していただいております。

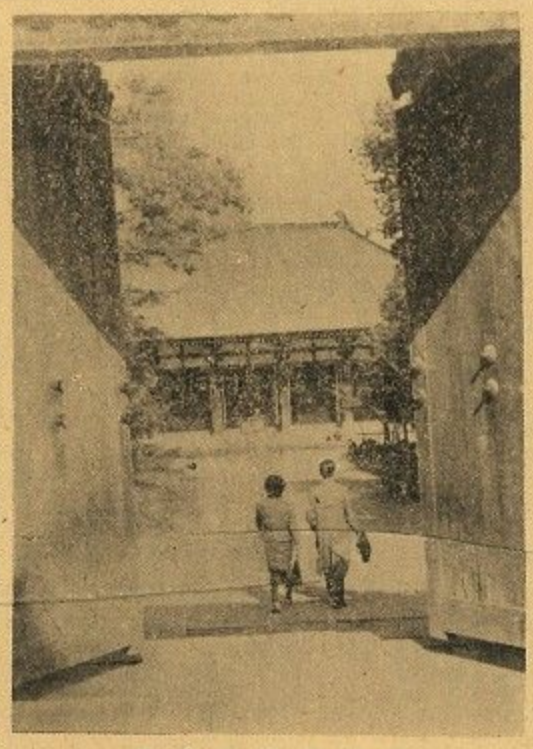
これと併行して奈良をよりよく理解していただく為め各所に案内板をたて、自動車の駐車場を設置し、撒水協会をつくつて公園の塵埃のたつのを防ぐことにいたしました。又駅前に水呑場を増設して観光客の便を計る計画をたてています。

最後にお願いしたい事は観光客に対し親切であり度いと思います。観光客の最も心をうつものは何といつても温かい人情でしよう。

この間県外に出て参りましたが、宿に着きました際、出されたスリッパがよごれていたので「ハット」しました。部屋にはいると、気節はづれの掛軸がかけてありまして嫌な気持になりました。又途中で学校の生徒に出合い、道をききましたところ、その生徒が帽子をぬいで丁寧に道を案内してくれた外、その町の様子を話してくれたのに全く驚きました。こちらから帽子を脱いで尋ねなければならないのに、先方に帽子をとられ「おうた子に教えられ浅瀬を渡る」というた塩梅で冷汗をかいた次第でありますが、観光都市である奈良市としてちよつとしたところにまで気を配り、こうした気持でおもい観光客を迎え度いと思います。

市民の皆さんの御協力を得てはじめて観光客によろこんでいただく奈良が実現されるのであります。

（観光課）



寺提招唐招提寺の真写

母子福祉資金の貸付

四月一日から実施

来る四月一日から施行されることになつている母子福祉資金の貸付等に関する法律では、二十才未満の子供を扶養している未亡人などのため、その経済的自立と生活意欲の向上のため生業資金や事業その他に必要な資金の貸付を行うことを規定しているが、これらの資金の利率は非常に低率で年三分、据置期間内は無利子で担保物件はいらないが保証人を立てなければならないことになつている。

貸付を受けることのできるものは

一、夫と死別しまだ婚姻事実上の婚姻を含むしていない者。

二、夫が生死不明の者。

三、夫から棄てられ又は夫が海外にあるため、その扶養をうけることのできない者。

四、心身の障害のため長期間労働能力を失つている夫をもつ者。

五、その他政令で定める者となつており資金の種類及び額は生業資金事業を始めるために必要なときに五万円、支度資金、就職するために必要なときに一万五千円、技能習得資金事業を始めまたは就職するために必要な技能をおぼえるために必要なとき、技能習得期間中二年をこえない範囲内で月額千五百円以内、生活資金、技能習得期間中生活を維するために必要なとき人には月額千円以内、供には一人につき月額百円以内事業繊続資金事業を繊続するために必要なとき一回につき三万以内、修業資金高校生〇〇円以内大学月二万以内、修業資金月額五百円以内となつております。

なお貸付が実際に開始される毎五月頃になるのではないかと思われるので国民金融金庫の資金の貸付が行われまいで、せいぜい御利用下さい。くわしいことは市の生課えおいで下さつて御談下さい。

滞納市税の整理強行

年度末を旬日にひかえ、市税のすべてが既に納期限を過ぎて了つていると云うのに、納税成績は未だ余り振わない。かくては市政の運営が円滑に行われ難い。

そこで市では特別滞納整理班をもうけて大口滞納者、悪質滞納者の名簿を作成、之を東奔西走していい滞納者に対し一掃を期し強行も厭なく差押え処分の市税務では特に滞納者の自発的納税を望んでいる。

農業改良普及員に就てのお知らせ

普及所は農務課内に新設

農業の進歩発達を図るためには農業技術の改善が第一であります。更に技術の改善と申しましても終局の目的は経済の改善であります。食糧の不足時代は何を作つても飛ぶ様に売れたのでありますが、漸次生産が増加して販売競争が激しくなると共に繊維の良い優良な生産物でないと有利に販売出来なくなりました。特に園芸農産物については、その感を深く致します。米については国家の要請もあり、又農家経済の点からも重要であることに変りはありませんが、最近の動向としては早植と称して五月上中旬に田植をしたり果菜類の跡作として七月下旬か八月上旬に田植をして相当の収量を挙げている例もあります。又マクワウリとトマトの間に稲植を直播して労力を省いている人もあります。どれがよいかは各戸の経営内容、目的に依つて一概には申し上げられませんが、要は如何にすれば有利に経営目的を達成するかであります。

そのためには土壌の改良、品種の改良、栽培法の改善、施肥の改善、農機具の問題、病虫害の防除、飼育管理の改善等々幾多の問題があります。

つぎに農家の経済を改善するためには農業の改良と共に生活の改善が重要なる問題であります、と申ますのは収入の増加を図ると共に支出を合理化して生活内容を豊にすることが目的であるからであります。即ち便利にすること、能率を増進すること、栄養を改善すること等の目的を如何にして達成するかであります、そのためには余り経費を要してはならないし、更に積極的に支出の減少を図ることが必要であります。

以上農業の改良、生活の改善をする農家各位の相談相手になるのが農業改良普及所の任務であります。

然しながら現在の処全市の各農家を巡回することはとても手が廻り兼ねる実状にありますので、なるべく支部とか、研究会とかの集団を対象として仂らかさせて頂き度いのであります。生活費を切下げることは容易ではないが、収入は漸次減少してきつつある現在、農家の皆様も誠に容易ならぬ事態にたち至りつつある時、少しでも農家各位の御役に立つために設けられたのが農業改良普及所であります。

（農務課）

公明選挙の意義は

有権者の自覚から生る

昨年十月の衆議院議員や教育委員の選挙を目標にして展開された公明選挙運動はそれ相当の成果はあがりましたが実際をいいますと公明選挙の掛け声が全国的にかけられその運動が動き出したというにとどまり、その掛け声を一般選挙民が受けて立ち上るという所まで行かなかつたというのが実情ではなかつたかと思います。

したがつて次は一般有権者の自覚と認識とにより徹底した公明選挙の実をあげねばならぬと思うのです。

一、何故こんな運動をしなければならぬか

公明選挙は大きな見地からみると平和国家建設のためだともいえます。平和は民主々義の達成によつて得られ、民主々義は、民主政治によつてつちかわれ、民主政治の基本は選挙によつて生れると思います。これほど選挙は重要なものでこの選挙が金力や権力や情実によつてゆがめられるようなことがあると、民主政治はもとよりひいては平和国家の建設など到底望めぬこととなるのであります。それでなくても国際情勢の緊迫はわが国に種々な名によつて重圧が加えられ、日本の民主政治も重大な時期に直面しているといえるときに選挙の公正が守り得られないとすれば、民主政治は、国民から信用を失い、ついにはとりかえしのできない破目に追いこまれることになる訳で、これを守るためにこんな運動を起すこととなつたのであります。

二、公明な選挙が行われない原因は何か

この原因が何処にあるかと言いますと覆き違えられた自由のたたりとでもいうか戦後の「デモクラシー」の自由論と申すべきだと思うのです。軍と官憲の極力のせきが一時に決壊したのに乗じて抑窮せた反動的自由主義の災禍であると思うのであります。凡そ世の中で自由ぐらい尊くして又自由ぐらい恐ろしいものはないといわれるのであります。ちようど日でりの慈雨と暴風雨とを混ぜたような危険をもつものです。

そこで公明選挙が行われない原因は覆き違えられた自由によつて真の選挙の重要性と自分の責任という国民の立場をわすれて金力や権力によつて法の裏街道を進もうとする者が少くない為だともいわれるのです。

三、徹底せねばならぬこと

選挙の重要性については今さら多言を要しませんが何といつても国民の政治的関心と政治的自覚がなかつたならば到底民主政治の確立は望めません。ところが今までの選挙をみますと選挙というより当選の取引の様相をあらわしているともいえるので、充分反省を要するものと思います。

また選挙運動についても選挙戦ということをよく耳にしますが選挙は断じて戦ではなくまた戦であつてはならないのです。戦と選挙との区別はそれは明かに戦争とスポーツの区別であるといわれております。選挙は選挙競争であつて選挙戦争ではないのであります。前の全国選挙管理委員長は選挙の在り方について「選挙は正しい政治を築くための公明正大な選挙競争であつて勝たんが為の手段や方法を選ばない戦争であつてはならぬ、公明とはスポーツに言うフェヤープレイのフェヤーである公明選挙とはフェヤープレイの選挙を意味する」

このように選挙運動は一切の種と仕掛けと手練と手くだを禁じて一切の秘術と暗躍とを完封して運動員も候補者もすべてスポーツマンのように素手素足で真ッ裸の下にひたすら徳義とルールの上に立つていやしくもまぎらわしい行動はつつしまねばならぬと思うのであります。

そこで今後の選挙においては候補者も運動員も一般選挙人も選挙の管理執行に当る者もまたは取締の職にあるものもおなじくその立場々々を自覚認識して正しく明朗な選挙を行うことに努めもつて民主政治の根源である選挙の刷新をはからねばならぬと思うのです。

（奈良市選挙管理委員会）

悪い病気をうつし大切な衣類や食糧を喰い荒す

"ねずみ"をとりましよう

ねずみの買上げ

（買上げ期間　三月九日～三月三十一日
買上げ場所　市衛生課・各支所
買上げ価格　一匹　一〇円）

期間中衛生課では"ねずみ"とり用として毒だんごを各家庭にお届け致しますから左の注意を読んで"ねずみ"とりに協力して下さい。

一、毒だんごは数個宛一かたまりに無雑作に紙に包んで自然らしく見せ、ねずみの通路より一尺位はなれた所に置くこと。

二、ねずみは夜間食物を食べに来るから毒だんごは夕方配置すること。

三、人や猫や犬や其の他の家畜が誤つてたべると中毒を起しますから取扱に注意すること。

四、毒だんご配置中は各家庭で責任者を定め毎日点検し最終日に残つたものは土中に埋めるか便所へ捨てて下さい。

毒だんごの外、捕鼠器、パチンコ等を使つて一匹でも多く"ねずみ"をとつて下さい。

奈良市衛生課

飼犬の登録更新期

—受付期日は四月一日より—

狂犬病予防法による飼犬の登録更新期がまいりました。本市でも左記に依り登録の受付を致しますから生後三ヶ月を経過した犬はどんな犬でも（昨年度登録された犬も）毎年四月から登録しておかねばなりません。皆様方が家族同様に可愛がられている犬のことですから一頭残らず登録して犬から受ける。あの恐ろしい狂犬病の予防に御協力下さい。なお登録されない犬は犬とみなされますから是非此際登録を受けて下さい。受けていない犬は捕獲されます。また狂犬病予防法による罰則を適用される事がありますから御注意下さい。

記

一、場所　奈良市役所衛生課又は都跡、東市、大安寺、平城の各支所

一、登録料　一頭につき三百円

登録の際は必ず印鑑を御持参下さい。

（衛生課）

作業員募集

自由に楽しく仂ける道場として市民に親しまれている市立授産場では今回さらに施設を充実し、ミシン加工の指導と生活の向上を図るために一般からも作業員を募集いたします。

ここで半カ年の期間で職工技能が習得でき、その習得期間中は若干の手当が支給されるとともに、期間中もでき上つた作業に応じて賃金が支払われております。設備、材料などは一切提供しています。

作業は大体毎日午前八時三十分から午後五時までとなつていますが、家庭の事情によつて特別の考慮が払われています。詳しい事柄は面接の上相談いたしておりますからご希望の方は直接同授産場にお越し下さい。